

# 日本経済政策学会 第75回全国大会 プログラム

## 大会テーマ

「安倍政権における経済政策（アベノミクス）  
の評価と今後の指針」

日時 2018年5月26日（土） 10:00～17:30  
2018年5月27日（日） 9:15～17:00

同志社大学

### **第 75 回全国大会プログラム委員会**

内山敏典(委員長、九州産業大学)、宮田由紀夫(関西学院大学)、永富隆司(国士舘大学)、土井康裕(名古屋大学)、佐竹光彦(同志社大)、小橋晶(同志社大)、川上敏和(同志社大)、木下信(龍谷大学)、土肥原洋(亜細亜大学)、臼井邦彦(亜細亜大学)、申寅容(亜細亜大学)、植村利男(亜細亜大学)、小淵洋一(城西大学)、貫真英(城西大学)、庭田文近(城西大学)、柳澤智美(城西大学)、江良亮(城西大学)、中村まづる(青山学院大学)、小澤太郎(慶應義塾大学)、谷口洋志(中央大学)、千田亮吉(明治大学)、林直嗣(法政大学)、前田章(東京大学)、竹内信仁(愛知学院大学)、永合位行(神戸大学)、小林甲一(名古屋学院大学)、酒井邦雄(愛知学院大学)、今泉博国(福岡大学)

### **第 75 回全国大会運営委員会**

佐竹光彦(委員長、同志社大学)、北川雅章(同志社大学)、竹廣良司(同志社大学)、小林千春(同志社大学)、上田雅弘(同志社大学)、川上敏和(同志社大学)、東良彰(同志社大学)、小橋晶(同志社大学)、迫田さやか(同志社大学)、服部昌彦(同志社大学)

【ご注意ください】

- ・ **休憩室** 第1日目の休憩室は、「**寒梅館地下 A 会議室**」です。第2日目の休憩室は、「**良心館 301 教室**」です。
- ・ **昼食** 第1日目は「**良心館地下食堂**」をご利用いただけます。第1日目の理事会のご出席者で昼食をご予約された方には、理事会会場にてお弁当をご用意しております。第2日目は「良心館地下食堂」はご利用いただけません。「**寒梅館 1 階アマークド・パラディ**」ほかの飲食店をご利用いただくか、コンビニで昼食をご購入ください。
- ・ **懇親会** 懇親会は受付にてお申し込みください。会費は一般会員 3,000 円、学生会員 2,000 円となります。なお、会場は継志館 1 階フロアとなります。継志館の場所は同志社大学今出川キャンパスマップをご確認ください。
- ・ **大会本部** 第1日目は「**寒梅館 1 階 1 A 会議室**」、第2日目は「**良心館 1 階 講師控室**」となっております。
- ・ **お問い合わせ先** 大会前日までと当日のお問い合わせ先は下記の通りです。  
住所：〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
同志社大学経済学部 佐竹光彦研究室気付  
日本経済政策学会 第 75 回全国大会事務局  
メール：jepa2018@mail.doshisha.ac.jp（前日まで、および当日）  
電話：075（251）3194（前日まで）  
ホームページ：  
<http://www1.doshisha.ac.jp/~msatake/index.html>

## 安倍政権における経済政策（アベノミクス）の評価と今後の指針

### Evaluations of Abenomics and Guiding Principles for Coming Economic Policy

2012年12月の安倍政権発足以降の経済政策は、アベノミクスと呼ばれ、人々の多大の期待と関心を集めた。1990年代から長く続いた日本のデフレからの脱却は、その狙いの一つであり、一年後には一応達成できたと考えられているものの、2%の消費者物価上昇率を、人々のインフレ期待に働きかけることによって実現させようという黒田日銀の掲げたインフレ目標が、はたして実際に達成されるかどうかについては、その成否と時期の両面について、エコノミストのみならず、一般国民も注視を続けているのが現状である。

ここで注意すべき点は、それに伴ってこれまで日本では行われなかったような新しいタイプの経済政策が、いくつか登場した点である。例えば従来の「三本の矢」の第一の矢に当たる「大胆な金融政策」では、金融政策の操作対象がコールレートからマネタリー・ベースに変更され、さらに長期国債なども買い入れるような非伝統的、もしくは異次元の「量的・質的金融緩和」が実施された。そしてその後、さらにわが国ではこれまで前例のなかったマイナス金利が2016年1月に導入され、その効果と是非については、不明確な部分も多いため、どのように評価すべきか、現在も多くの議論が交わされている。また同年9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和へと政策内容が進展した。

この間の金融政策運営の変化をみると、当初は「サプライズ」を強く意識して行われた金融政策であったが、最近では周知する方向に変わったこと、また初期には、利子率から貨幣量へと金融政策の重点が移されたものが、直近では貨幣量と利子率の両方に軸足を置くように転換され、さらに短期利子率のみならず長期利子率も日銀の操作対象に組み込まれたことなど、いくつかの注意すべき点が指摘できる。

ともあれ、このような金融政策が、これまでになく高い関心を集めたのに対して、従来の第二の矢に当たる「機動的な財政政策」については、2017年に予定されていた消費税増税が2019年10月まで延期されたこともあり、議論の盛り上がりには欠けている。そしてその背景にあるのは、いうまでもなく国と地方とを合わせれば1,000兆円ほどにも上るわが国財政の巨額の債務残高である。2020年を目途に政府が中長期的な財政再建を目指す一方で、短期的な景気にも配慮し、少子高齢化が進む中で社会保障の充実と安定を両立できるような改革を進めることが、いったいどこまで可能なのか、むずかしい課題を背負っていることは確かである。とはいうものの、第一の矢の金融政策だけでは、アベノミクスのもう一つの狙いである持続的な経済成長も含めて、その目標遂行能力に限界があることは明らかであり、短期および中長期において、どのような財政政策運営を行うべきなのか、もう一度あらためて考えるべき時期に来ているといえる。

ここで期待されるのが従来の第三の矢にあたる「民間投資を喚起する成長戦略」である。ただ最近の景気の回復にもかかわらず、企業の国内における設備投資には今一つ力強さがみられない。一つには円レートの水準が関係しており、円高が進んでいた時期には、国内設備投資は手控えられ、海外での設備投資が中心であった。円安に転じてからは、ようやく国内生産意欲が高まり、国内の設備投資も改善し始めているものの、円安と国内生産への回帰の間には数年のタイムラグがある。またこれに加えて、現在だけでなく将来においても需要の増大が予想されなければ、企業はなかなか設備投資に踏み切らないであろう。

企業の設備投資を促進する方策としては、他に法人税の実効税率の引き下げや規制緩和も重要である。また少子化が進み人口増加率が減少する中で、経済成長を可能にするべく生産性を上昇させるには、投資の対象についても十分な考慮がなされなければならない。AI（人工知能）やロボットなどは、IoTと並んで、重点的に取り扱うべきものと考えられる。

安倍政権は2015年9月に、新三本の矢を発表した。「希望を生み出す強い経済」、「夢を紡ぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の三つがそれである。しかしその評判は、発表直後から決して芳しいものではなかった。まだ旧三本の矢の総括がなされていないにもかかわらず、新三本の矢が、相互の関連性が曖昧なまま、提出されたためであり、まず旧三本の矢に関する議論と評価を十分に行ったのちに、新旧の三本の矢の相互関係も含めて、全体的な議論がなされるべきであろう。

なお2016年6月には「日本再興戦略2016」が発表され、1) 新たな「有望成長市場」の戦略的創出、2) 人口減少に伴う制約や人手不足を克服する「生産性革命」3) 新たな産業構造を支える「人材強化」という戦略が示された。

これらも含めてアベノミクスは、経済政策の在り方を議論するには絶好の材料を提供してくれている。経済情勢が不断に変化している中での評価は難しい面もあるが、その中でこれらに対する検証と評価を十分に行い、将来への指針も導き出すことが、強く期待される。

**第1日目 5月26日(土)**

9:00～ 寒梅館1階フロア

- ・ 受付

**<10:00～10:10>** 寒梅館ハーディーホール(地下1階)

1. 開会の挨拶

大会プログラム委員長 内山敏典(九州産業大学)

**<10:10～10:20>** 寒梅館ハーディーホール

2. 主催校挨拶

同志社総長 八田英二(同志社大学)

**<10:20～12:00>** 寒梅館ハーディーホール

3. 共通論題1 **成長戦略** 講演

**「日本のこれからを考える」**

座長 宮田由紀夫(関西学院大学)

**<10:20～11:00>**

(1) **「働き方改革でワークライフバランスは改善するか」**

講演者 川口章(同志社大学)

**<11:00～11:40>**

(2) **「自動運転の社会へのインパクト」**

講演者 三好博昭(同志社大学, SIP-adus 国際連携 WG 準構成員)

**<11:40～11:55>**

質疑応答

**<12:00～13:00>**

- ・ 昼食

**<12:00～13:00>** 良心館1階107教室

- ・ 理事会(昼食)

<13:05~13:55> 寒梅館ハーディーホール

4. 総会

<14:00~16:40> 寒梅館ハーディーホール

5. 共通論題2 **金融・財政政策** 講演

**「安倍政権における経済政策（アベノミクス）の評価と今後の指針」**

座長 飯田泰之（明治大学）

<14:00~15:20>

(1) **「金融政策」**

講演1 **「日本銀行の金融緩和と正常化」**

講演者 白井さゆり（慶應義塾大学）

講演2 **「アベノミクスと金融政策：2012年秋から2018年春まで」**

講演者 北坂真一（同志社大学）

<15:20~16:40>

(2) **「財政政策」**

講演1 **「『機動的な財政政策』に関する論点整理」**

講演者 宮崎智視（神戸大学）

講演2 **「わが国財政の現状と課題」**

講演者 中島朗洋（財務省）

<16:50~17:30> 寒梅館ハーディーホール

6. 共通論題2 **金融・財政政策** パネルディスカッション

コーディネーター 飯田泰之（明治大学）

パネリスト 白井さゆり（慶應義塾大学）

北坂真一（同志社大学）

宮崎智視（神戸大学）

中島朗洋（財務省）

<18:00~19:30> 同志社大学継志館1階フロア

7. 懇親会

第2日目 5月27日(日)

・受付

<良心館 1階フロア>

8:30~

**A I 午前1の部 <9:15~10:15>**

**特別セッション** <良心館 3階 303 教室>

**藤井隆先生：メモリアルセッション**

司会 竹内信仁 (中部部会長、愛知学院大学)

会長挨拶 柳川隆 (神戸大学)

特別講演 渡辺悌爾 (三重大学名誉教授)

「経済政策学としての総合化、発展を目指して」

特別講演へのコメント 荒山裕行 (前会長、京都産業大学)

「藤井隆先生の目指された『政策学一般理論』に寄せて」

---

**A II 午前2の部 <10:30~12:30>**

**A II-1 労働1** <良心館 4階 401 教室>

座長 木下信 (龍谷大学)

(1) GVCにおけるケインズ型労働需給

報告者 笠原弘義

討論者 勇上和史 (神戸大学)

(2) 職種の学歴・性別構成が賃金に与える影響

報告者 中野あい (神戸大学)

討論者 松浦司 (中央大学)

(3) 「責任感応理論」を用いた日本の所得不公平についての実証分析

報告者 迫田さやか (同志社大学)

討論者 塚原康博 (明治大学)

## **AII-2 産業1** <良心館4階402教室>

座長 明石芳彦 (大阪商業大学)

(1) 医薬品の普及における市場拡大再算定の影響：降圧剤市場を対象として

報告者 西川浩平 (摂南大学)

討論者 小林秀行 (日本学術振興会)

(2) グーグル、アマゾンのプラットフォームにおける対立の課題について

報告者 長谷川雄哉 (関東学園大学)

討論者 石原 敬子 (兵庫大学)

(3) 中国におけるネット・クチコミ情報を利用している消費者の特性明確に関する実証研究

報告者 陳森 (東海大学) \*

李君軼 (中国陝西師範大学)

楊笑淼 (中国陝西師範大学) \*

付莉莉 (中国陝西師範大学) \*

討論者 鵜飼康東 (関西大学名誉教授)

## **AII-3 地方財政** <良心館4階403教室>

座長 永合位行 (神戸大学)

(1) ふるさと納税は寄附か

－ソーシャル・キャピタルの視点からの実証分析－

報告者 高橋勇介 (京都大学)

要藤正任 (京都大学)

小嶋大造 (京都大学)

討論者 鈴木純 (神戸大学)

(2) 地域の環境と公共投資競争

報告者 大野正久 (熊本大学)

討論者 本間聡 (東海大学)

(3) 都城市役所におけるふるさと納税政策の成長戦略的意義

報告者 谷田貝孝 (宮崎大学)

討論者 吉弘憲介 (桃山学院大学)

## A II-4 チュートリアルセッション <良心館 3 階 303 教室>

### 英語論文の書き方と国際学会発表の仕方

座長 柳川隆 (神戸大学)

講演者 石川慎一郎 (神戸大学, 学術英語学会アドヴァイザー)

「Academic Presentations as Logical Storytelling」

講演者 保田幸子 (神戸大学, 学術英語学会代議員)

「読み手を導く英語論文の書き方 (Academic writing for an audience: Crafting your writing to meet their needs)」

討論者 小澤太郎 (慶應義塾大学)

---

## P I 午後1の部 <13:30~15:30>

### P I-1 労働2 <良心館 4 階 401 教室>

座長 宮田由紀夫(関西学院大学)

(1) 若年労働市場はなぜ変化したのか - 日本企業の若年採用行動の変化から

報告者 TUMEN ANAR (中央大学) \*

討論者 萩原里紗 (明海大学)

(2) 中国の労働移動問題に関する新たな検討

- 行動経済学的実験研究も含めて

報告者 王佳星 (青山学院大学) \*

討論者 内藤雄太 (追手門学院大学)

(3) 産官学協力型技術移転に基づくタイの人的資源開発

- 第3 フェーズ 泰日工業大学の自立的人材育成

報告者 國本康寿 (梅光学院大学)

討論者 鈴木章浩 (長岡大学)

**PI-2 産業2** <良心館4階402教室>

座長 荒山祐行(京都産業大学)

(1) Royalty and license fee under oligopoly with or without entry of innovator: Credibility of two-step auction

報告者 服部昌彦 (同志社大学)

田中靖人 (同志社大学)

討論者 田中悟 (神戸市外国語大学)

(2) 日本の製紙業界における合併の成否

報告者 上田雅弘 (同志社大学)

討論者 土井教之 (関西学院大学名誉教授)

**PI-3 地域経済** <良心館4階403教室>

座長 植村利男 (亜細亜大学)

(1) 兵庫県内市町村の生産性分析

報告者 衣笠達夫 (関西国際大学)

討論者 小峰隆夫 (大正大学)

(2) プリンシパル・エージェント関係から見たマニラ首都圏水道事業民営化の課題

報告者 井ノ口登 (神戸大学) \*

討論者 鈴木伸枝 (駒澤大学)

(3) 地域の歴史文化及び経済に接近するPBLの意義:

わっかないコーヒーフェスティバルからの一考察

報告者 黒木宏一 (九州産業大学)

討論者 坂西明子 (立命館大学)

**PI-4 理論** <良心館4階404教室>

座長 永富隆司 (国土館大学)

(1) 『道徳感情論』から『国富論』へ ―「見えざる手」の真意

報告者 永井四郎 (麗澤大学名誉教授)

討論者 西岡幹雄 (同志社大学)

(2) 不完全公的観測下の自己統治による効率性改善：数値例による考察

報告者 川上敏和 (同志社大学)

討論者 荒木一法 (早稲田大学)

(3) 実経済と虚経済

－特異3仮説の適用によるマクロ経済の一般不均衡的ミクロ解釈－

報告者 仁科克己 (幻想経済研究所)

討論者 和田龍磨 (慶應義塾大学)

**PI-5 企画セッション** <良心館3階303教室> (13:30~16:10)

**アベノミクスと地方創生**

座長 小林伸生 (関西学院大学)

(1) アベノミクスと大阪の成長戦略

報告者 鵜飼康東

(大阪府商工労働部大阪産業経済リサーチセンター)

討論者 小林伸生 (関西学院大学)

(2) The agglomerations of Knowledge-Intensive Business Services and Headquarters

報告者 福井紳也

(大阪府商工労働部大阪産業経済リサーチセンター)

討論者 春日教測 (甲南大学)

(3) アベノミクスと供給制約：中部圏経済の実態

報告者 島澤 諭 (公益財団法人中部圏社会経済研究所)

難波了一 (公益財団法人中部圏社会経済研究所)

討論者 渡邊真治 (大阪府立大学)

(4) 地方創生とIoT実装

報告者 前田京太郎 (総務省)

討論者 高木聡一郎 (国際大学 GLOCOM)

**P II 午後 2 の部 <15:40~17:00>**

**P II-1 財政 <良心館 4 階 401 教室>**

座長 石山健一 (国土館大学)

(1) 利他的遺産動機における Feldstein(1977)の Surprising Result

—消費・地価・地代税財源による賦課方式の公的年金政策の場合—

報告者 仲間瑞樹 (山口大学)

討論者 平賀一希 (東海大学)

(2) 財政運営の非対称性と財政ルール

報告者 原一樹 (法政大学) \*

討論者 宮崎智視 (神戸大学)

**P II-2 金融 <良心館 4 階 402 教室>**

座長 中平千彦(明海大学)

(1) 日本銀行の ETF 購入が企業収益に与える影響

報告者 三浦一輝 (常葉大学)

郡司大志 (大東文化大学)

袁媛 (華東師範大学)

討論者 南波浩史 (徳島文理大学)

(2) ESG を考慮した資産価格評価モデル

報告者 石島博 (中央大学)

前田章 (東京大学)

討論者 溝端和久 (関西大学)

**P II-3 国際** <良心館 4 階 403 教室>

座長 土井康裕 (名古屋大学)

(1) Empirical analysis of Japanese FDI strategies: network production approach

報告者 孫綺蔚 (滋賀大学) \*

討論者 伊澤俊泰 (名古屋学院大学)

(2) 台湾の FTA 参加と輸出競争力

報告者 連宜萍 (公立鳥取環境大学)

討論者 谷口洋志 (中央大学)

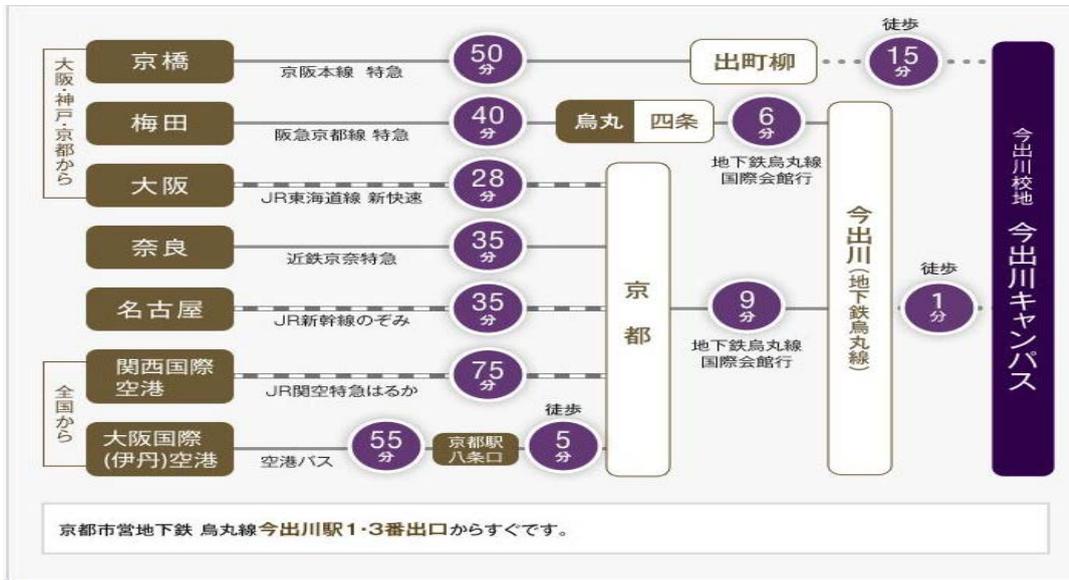
(注 1) 自由論題の各報告は 40 分間 (報告 25 分、討論者によるコメント 10 分、報告者のリプライおよびフロアとの討論 5 分) です。時間厳守をお願いします。

(注 2) \* 印は学生会員であることを示します。

(注 3) 共著論文の場合、報告者を筆頭に記しています。

第2日 (5月27日) セッション配置					
(教室名)	RY401	RY402	RY403	RY404	RY303
午前1(9:15-10:15)	-----	-----	-----	-----	AI 特別セッション
午前2(10:30-12:30)	All-1 労働1	All-2 産業1	All-3 地方財政	-----	All-4 チュートリアル セッション
午後1(13:30-15:30)	PI-1 労働2	PI-2 産業2	PI-3 地域経済	PI-4 理論	PI-5 企画セッション
午後2(15:40-17:00)	PII-1 財政	PII-2 金融	PII-3 国際	-----	

## ■同志社大学今出川キャンパスまで



## ■同志社大学今出川キャンパスマップ

